

分野別目標3

子供たちが いきいきと育つまち

3-1 安心して子供を産み育てることのできる環境の整備

3-1-1 安心して子供を産み育てることのできる環境の整備

3-2 社会を生き抜く子供たちの学力の育成

3-2-1 確かな学力を育む教育の推進

3-2-2 国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進

3-3 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成

3-3-1 豊かな心を育む教育の推進

3-3-2 健やかな体を育む教育の推進

3-3-3 人権を尊重する社会を築くための教育の推進

3-4 安全・安心な教育環境の整備

3-4-1 安全・安心な教育環境の整備

3-5 家庭や地域における教育力の向上

3-5-1 家庭や地域における教育力の向上

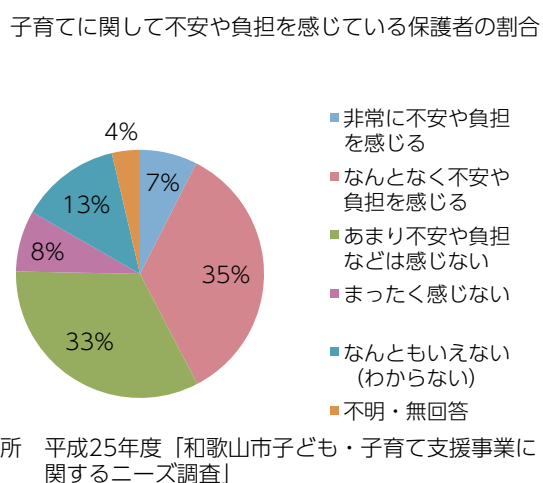
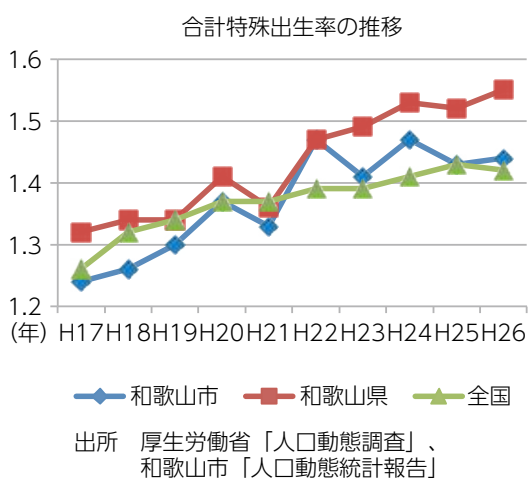
3-1 安心して子供を生み育てることのできる環境の整備

本市の出生数は過去10年間、3,000人前後で推移していますが、平成26年(2014年)の合計特殊出生率*⁶⁸は1.44と、人口を維持するために必要とされる2.07を下回っています。一方で、市民アンケートによる理想とする子供の数は平均で2.28人となっており、これを阻害している要因の解消が求められています。就学前児童と小学生の保護者を対象としたアンケート調査によると、子育てに関して不安や負担を感じている保護者は4割を超えており、妊娠、出産、子育てを支える切れ目のない支援体制づくりが課題となっています。

核家族化や地域における住民間のつながりの希薄化が子育ての孤立化を生み出し、これが子育てに対する不安感・負担感につながっていると考えられることから、保護者同士の交流を通じた仲間づくりの促進や地域で支える子供の居場所づくりなど、家庭のみならず地域全体で子育てに取り組むことが求められています。

子供が健やかに育つことができる環境づくりに向けては、平成27年(2015年)4月にスタートした子ども・子育て支援新制度*⁸⁶を受け、良質な幼児教育・保育を効果的に提供できるよう、認定こども園*²²⁴の普及を進めるほか、一時保育や病児保育など様々な保育ニーズに対応していくことが求められています。また、妊産婦等に対する妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない、よりきめ細かな支援を行うため、平成28年(2016年)10月に市内4か所に子育て世代包括支援センター*⁸⁴を開設しましたが、その機能を生かして子育て世帯の安心感を醸成することが必要です。

子育てに対する経済的支援については、平成28年(2016年)に子供の医療費の無償化を拡大するなどその充実に努めていますが、今後も、子育て世帯の負担軽減を図ることが求められています。また、ひとり親家庭や障害のある子供など、支援が必要な子供に対する経済的支援や生活面での支援が求められているほか、社会問題となっている児童虐待については発生予防から自立支援までの取組を強化していく必要があります。



3-2 社会を生き抜く子供たちの学力の育成

全国学力・学習状況調査の結果によると、本市児童生徒の教科結果は全般的に全国平均より低く、基礎的・基本的な学力の習得や、知識・技能を活用する力に課題があると言えます。子供たちが将来の夢や目標を実現するために必要な確かな学力*¹⁸⁰を身に付けられるよう、教育内容の充実を図る必要があります。

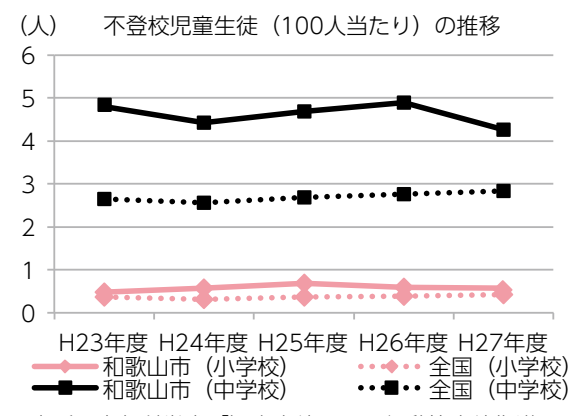
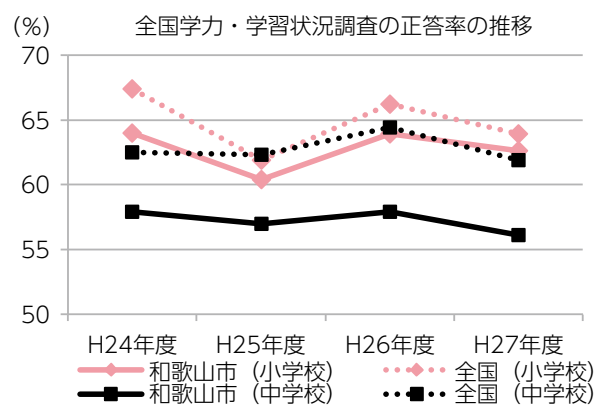
小・中学校の義務教育9年間を通じた教育課程を編成して系統的な教育をめざす小中一貫教育*¹³⁷については、学力の向上や思いやり、助け合いの気持ちを育むことなどに効果があるとして、全国的に導入が進みつつあります。平成29年(2017年)に本市で初めての施設一体型小中一貫校*¹⁰⁷が開校しますが、ここで得られた知見に基づき、小学校と中学校の円滑な接続を図っていく必要があります。

いじめを背景とした児童生徒の生命や心身に重大な危険が生じる事案が全国各地で発生しています。近年は、スマートフォン等の普及によりネット上のいじめが増加傾向にあり、保護者や教職員といった周囲の大人がいじめを発見しにくい状況が生まれています。いじめの未然防止や、確認された場合に適切に指導する取組が必要です。また、本市の不登校率は全国平均を上回っており、早急な対応が求められています。スクールカウンセラー*¹⁶⁰や教員、関係機関が連携して、子供たちが学校生活をいきいきと過ごせる環境を構築する必要があります。

学校教育の多様化や児童生徒の問題行動に対応するため、専門職員の重要性が増しています。特色ある専門的な教育を行うための特別非常勤講師や生徒指導補助員の充実に努めていく必要があります。教員の資質や能力の向上に当たっては、経験や能力に応じた教員研修を実施していますが、更なる充実により専門的な職能と実践力の向上が求められています。

国際化が進む現代社会においては、英語を共通言語として実践的なコミュニケーションを図っていく必要性が高まっています。一方で、市内の中学3年生の英語検定3級の取得率は3割に達していません。小学校においては英語に慣れ親しむ環境づくり、中学校においては聞く、読む、話す、書くの4技能をバランスよく伸ばし、言語や文化に対する興味、関心、態度を育成することに取り組み、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図っていく必要があります。

本市では、和歌山大学と産業・経済・教育・文化・行政等総括的分野での地域の振興と活性化への貢献を目的とした地域連携推進協定を締結するなど、高等教育機関*⁷⁴との連携協力を努めています。今後も地域課題の解決をめざし、大学等の持つ知的資源の有効活用、共同研究や公開講座を通じた学習機会の提供等に取り組む必要があります。また、和歌山県における高校生の県外進学率は全国で最も高いことから、人材育成や学習機会の確保が喫緊の課題であり、若い世代の流出抑制やまちなかの賑わいの創出のためにも、まちなかへの大学誘致に取り組んでいく必要があります。



出所 文部科学省「全国学力・学習状況調査」及び和歌山市資料を基に和歌山市作成

出所 文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」及び和歌山市資料を基に和歌山市作成

県外進学者率

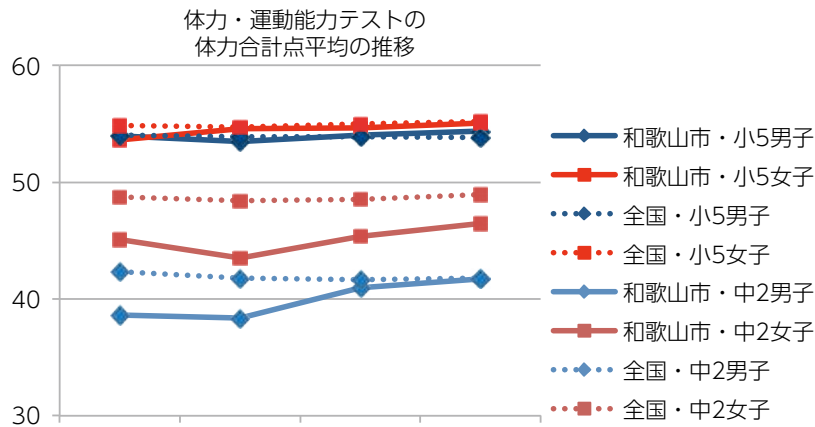
順位	都道府県	県外大学進学率 (%)
	全国	56.4
1	和歌山	89.6
2	佐賀	86.2
3	島根	85.6
・	・	・
45	東京	34.6
46	北海道	31.7
47	愛知	28.0

出所 文部科学省「平成27年度学校基本調査」

3-3 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成

子供たちが将来、社会や世界との関わりの中でより良い人生を送ることができるよう、豊かな人間性と社会性を育むことはとても重要です。他者を思いやる心を培う道徳教育やふるさとへの愛着を高める郷土学習、文化芸術に関する学習や体験活動を通じて、児童生徒の豊かな心を育む必要があります。

平成27年度（2015年度）の全国体力テストでは男子は全国平均を上回りましたが、女子は改善傾向にあるものの全国平均を下回っています。すべての児童生徒が自分の体力に関心を持って運動習慣を定着させるとともに、生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、健康観の育成と健康行動の確立を図る必要があります。



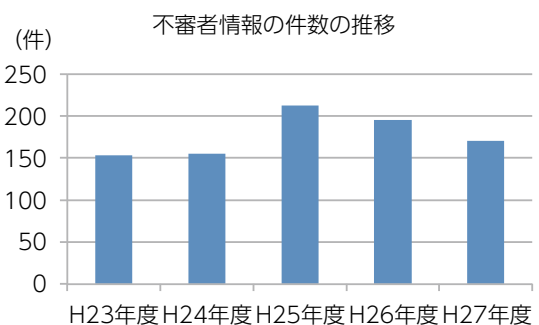
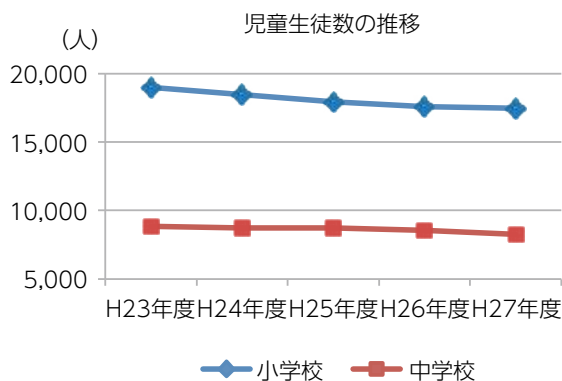
出所 文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」、和歌山県「児童生徒の体力・運動能力調査報告書」

3-4 安全・安心な教育環境の整備

本市の学校施設は、建物の老朽化が進んでいることに加え、近年の教育内容や教育方法の変化への対応が求められています。ICT^{*1}を活用した教育活動に対応できる情報ネットワーク環境の構築や、学校図書館の充実、快適な教育環境の整備などを計画的に進めていく必要があります。

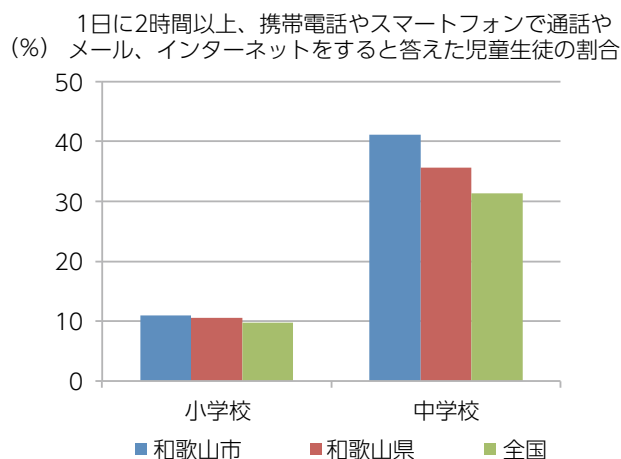
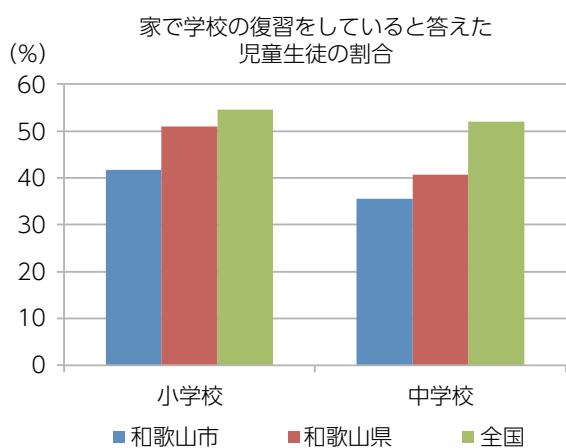
少子化の進行により、本市の児童生徒数は減少しています。学校の小規模化が進むと、多様な考えの中で思考を磨き合う場面が少なくなったり、クラス替えができず人間関係が固定化されたりといった課題が生じます。子供により良い学習環境を提供できるよう、学校規模の適正化についての検討を進める必要があります。

子供たちがインターネットやコミュニティサイト^{*89}を利用し、トラブルに巻き込まれる事例が生じています。また、子供の安全を脅かす不審者に関する情報は平成27年度（2015年度）だけで170件報告されており、犯罪被害に遭わないための取組が求められています。子供たちが犯罪に巻き込まれることを未然に防止する活動を地域、警察、学校等の関係機関が連携して展開していく必要があります。



3-5 家庭や地域における教育力の向上

子供たちが基本的な生活習慣や自立心を身に付けるためには、家庭教育は重要な役割を果たしています。本市においては、平成28年(2016年)12月に和歌山市家庭教育支援条例^{*281}が制定されたところであり、家庭を取り巻く学校、地域住民、地域活動団体、事業者、行政をはじめとした地域社会全体が家庭教育の自主性を尊重し、それぞれの適切な役割を果たしつつ、より一層の連携を図り、家庭教育を支えていくことが求められています。



出所 文部科学省「平成27年度全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙)」、和歌山市

- 分野別目標3** 子供たちがいきいきと育つまち
- 政策 3-1** 安心して子供を産み育てることのできる環境の整備
- 施策 3-1-1** 安心して子供を産み育てることのできる環境の整備



子育て世代包括支援センターにおける相談

〈めざす10年後の姿〉

家庭、地域、学校、企業などが連携、協働^{*49}することで、安心して子供を産み育てるという希望がかなえられるとともに、すべての子供が、健やかに成長している。

取組方針1 家庭や地域で取り組む子育て環境づくり

子育てに関する情報を情報誌やアプリ等の各種メディアを通じて発信するなど、子育て中の家庭が必要とする情報の提供に努めます。子育て中の保護者が気軽に交流したり、育児不安等への相談支援を受けることのできる地域子育て支援拠点^{*188}などの体制を強化するとともに、保護者の仕事や病気などの際に子育てをサポートできるように、住民同士の支援体制の充実を図ります。また、様々なメリットがある3世代同居・近居^{*98}を推進します。

取組方針2 子供が健やかに育つことができる環境づくり

安心、安全で良好な保育環境を提供するため、公私保育施設の整備や、幼児期の学校教育、保育を一体的に実施する認定こども園^{*224}の普及、学童保育（若竹学級^{*278}）の充実を推進し、待機児童の解消を図るとともに、一時保育や病児保育等の需要に応じた必要な保育を提供します。また、保健センターにおける乳幼児健康診査^{*223}や各種教室、子育て世代包括支援センター^{*84}における相談支援体制などを充実し、妊娠、出産、子育て期間を通して切れ目のない支援を行います。

取組方針3 保護・援助を必要とする子供への支援

子供を持つ家庭に対して医療費等の経済的支援を図るとともに、経済的理由等から支援が必要な子供たちに学力向上や食生活等の生活環境を改善する支援に取り組めます。養育支援^{*269}が必要な家庭に対する家庭訪問や相談支援を充実させ、児童虐待等の早期把握と適切な対策の実施に努めます。また、障害のある子供への理解を促進し、可能な限り障害のない子供と同じ保育、学校生活が送れるよう努めます。

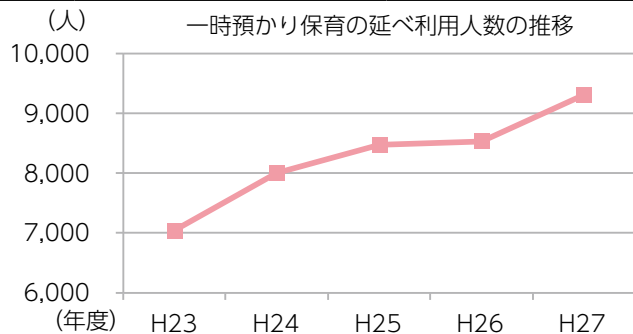
取組方針4 結婚から子育てにつなげる社会づくり

若年層の結婚や妊娠・出産に対する正しい知識を深めるとともに、結婚の希望をかなえることができる取組を進めます。また、男性の積極的な育児参加を促し、男女が育児や家事を協力して行う社会をめざすとともに、子育て等で仕事を離れた女性の再就職や職場復帰、男性の育児休暇取得など仕事と育児の両立がしやすい環境づくりを進めます。

まちづくり指標	基準値 (H26年)	目標値 (H38年)
合計特殊出生率 ^{*68}	1.44	1.80



地域子育て支援拠点施設



役各主体の割	市民	子育てに対して関心を持つことや理解を深めることで、子供の成長を社会全体で支えるように努める。
	地域・NPO等	子供を地域で育てると意識を持ち、「子供の見守り」や「子供の居場所づくり」を推進する。
	事業者	子育てしやすい職場環境づくりや子育て支援活動の推進に努める。
関係部	こども未来部 健康推進部 産業部 学校教育部 生涯学習部	
関連する個別計画	和歌山市子ども・子育て支援事業計画 和歌山市男女共生推進行動計画 和歌山市立認定こども園整備計画	

- 分野別目標3** 子供たちがいきいきと育つまち
政策 3-2 社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策 3-2-1 **確かな学力*180を育む教育の推進**



児童生徒による学び合いの授業づくり

〈めざす10年後の姿〉

子供たちが毎日をいきいきと過ごし、将来の夢や目標を実現するために必要な「確かな学力」を身に付けている。学校、保護者、地域の信頼関係の中で、安心して学校生活、家庭生活を送り、社会で活躍していく力を身に付けている。

取組方針1 教育課程の充実と学力の向上

小中一貫教育*137について、施設一体型に限らず、施設分離型や小中連携教育なども含めた研究を進め、児童生徒の実態や地域・保護者のニーズを踏まえながら、段階的に取り組みます。また、アクティブラーニング*8など児童生徒が学ぶ楽しさやわかる喜びを実感できる学び合いの授業づくりを進めるとともに、学級文庫など読書環境の充実や学校図書館を活用した授業づくりの研究、「うちどくノート」*16の活用などにより、児童生徒の読書活動を推進するなど、教育内容の充実に取り組みます。幼児教育については、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って体験を重ねる中で、健康な心と体を育て、人と関わる力や感じたこと、考えたことを自分なりに表現する力などを養えるような質の高い幼児期の教育・保育に努めるとともに、関係職員の交流や合同研修を通じて幼稚園、保育所、認定こども園*224等の連携体制を構築します。また、市立和歌山高等学校については、人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を図ります。

取組方針2 信頼と期待に応える学校づくりの推進

開かれた学校づくりを推進するため、学校評価*30を実施し、教育活動や学校運営に対する保護者や地域住民の理解と参画を得ます。特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対しては、特別支援教育支援員の配置を進め、適正な学びの場の提供など特別支援教育の充実を図ります。また、いじめ、不登校の問題に対しては、学校全体で早期発見、早期対応に努めるほか、相談員の専門的な技量の向上を図るなど、こども総合支援センターの機能を強化するとともに、スクールカウンセラー*160、スクールソーシャルワーカー*161、関係機関等との連携を通じた問題解決への支援体制を整えます。さらに、児童生徒が災害や事故、犯罪から自分の身を守ることができるよう、安全教育や防災教育の充実を図ります。

取組方針3 学校の組織力と教職員の指導力向上

多様化する教育課題の解決のため、生徒指導補助員や特別非常勤講師など専門的な知識や技術を有する人材を確保します。また、教員の経験、能力や時代の変化に対応した研修を実施し、教員の専門性や授業力の向上を図ります。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
全国学力・学習状況調査の正答率	小学校 62.6%(*63.9%) 中学校 56.1%(*61.9%)	小学校 全国平均を2ポイント上回る 中学校 全国平均

※は全国平均(H27年度)



学校図書館を活用した授業づくり



スクールカウンセラー等による不登校に関する事例検討会

の各 役割 主体	市民	一体となって子供を育てる意識を持ち、学校や幼稚園等が行う教育活動に積極的に参加する。
	地域・NPO等	学校との連携を深め、一体となって教育課題の解決に取り組む。
関係部	学校教育部 こども未来部	
関連する個別計画	和歌山市教育振興基本計画 和歌山市子ども・子育て支援事業計画	

- 分野別目標3** 子供たちがいきいきと育つまち
- 政策 3-2** 社会を生き抜く子供たちの学力の育成
- 施策 3-2-2** 国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進

〈めざす10年後の姿〉

子供たちが、日々変化していく情勢や国際化社会に対応できるよう、学力の向上だけでなく、資質や能力を伸ばし、たくましく生き抜く力を育てている。



ALTによる英語授業

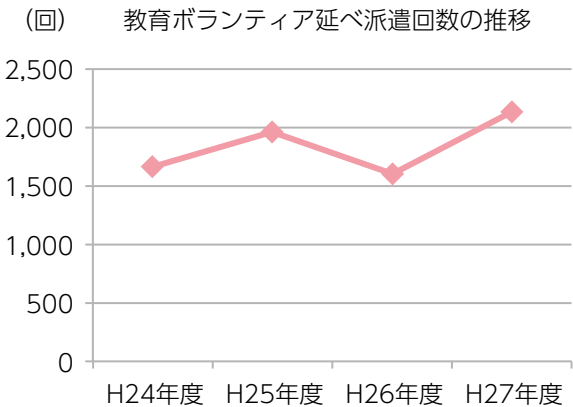
取組方針1 国際化・情報化に対応した教育の推進

ALT^{*18}とのチームティーチング^{*204}やICT^{*1}機器の活用により英語運用力の向上を図るとともに、国際理解教育^{*82}の充実に努めます。また、教育の情報化に関わる内容の一層の充実が図られた学習指導要領の確実な実施とICTを活用した授業革新に向けて、環境整備を計画的に進めます。

取組方針2 高等教育機関^{*74}の充実と連携強化

地域が抱える課題に対応していくため、市内や近隣にある大学等が持つ知的資源を有効活用し、産学官による共同研究や公開講座を通じた学習機会の提供など、連携を強化します。和歌山大学等と連携し、教職員の資質向上のための研修の充実や、学生の教育ボランティア^{*47}による教育活動の支援など、教育を支える人材の育成を推進します。また、大学誘致を進め、高等教育を受ける機会の充実を図ります。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
中学3年生の英語検定3級取得率	23.1%	50.0%



ICTを活用した授業

の各 役主 割体	市民	大学等が実施する公開講座などに積極的に参加する。
	大学等	知的資源を生かして地域課題の解決に取り組む。

関係部	学校教育部 政策調整部 企画部
-----	-----------------

関連する個別計画	和歌山市教育振興基本計画
----------	--------------

- 分野別目標3** 子供たちがいきいきと育つまち
- 政策 3-3** 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
- 施策 3-3-1** **豊かな心を育む教育の推進**



地域の素材を生かしたふるさと教育の推進

〈めざす10年後の姿〉

道徳教育や地域の人や自然、文化に触れ合う体験活動を通じて、子供たちが郷土愛と豊かな心を育てている。

取組方針1 道徳教育の充実

先人の伝記、伝統と文化などを題材とした、児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して道徳教育の充実を図ります。

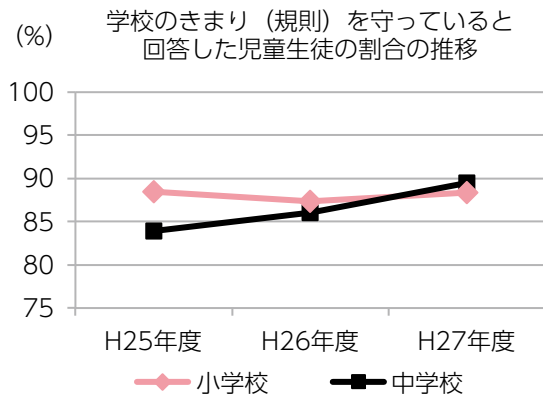
取組方針2 郷土を愛するふるさと教育の推進

地域の豊かな学習資源を活用し、実際の生活や社会、自然について学ぶことができる学習活動に取り組むとともに、地域での職場体験等を通じたキャリア教育^{*41}を進めます。自然体験学習^{*109}の充実については、外国人を含めた多くの人々が利用し交流できる機能を併せ持つ青少年国際交流施設の建設を進めるなど施設環境を整えるとともに、地域の自然環境を生かした自然体験プログラム^{*110}の作成などに取り組みます。また、こども科学館^{*85}の設備充実を通じて、科学に関する体験学習環境の向上を図ります。

取組方針3 文化芸術教育の充実

児童生徒が実際に質の高い文化芸術に触れる機会を提供するなど、音楽や図工・美術教育の充実を図ります。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
学校のきまり(規則)を守っていると回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙)より)	小学校 88.4% 中学校 89.5%	100%



文化芸術教育

役割の各主体	市民	郷土の歴史・文化・芸術に関心を持ち、子供たちのふるさとを愛する心を育む。
	地域・NPO等	学校と一体となって、豊かな心とふるさとへの愛着を持った子供を育てる。
	事業者	職場見学、職場体験に積極的に協力し、子供たちが社会に参画しようとする意識を育てる。

関係部	学校教育部 生涯学習部
-----	-------------

関連する個別計画	和歌山市教育振興基本計画
----------	--------------

- 分野別目標3** 子供たちがいきいきと育つまち
政策 3-3 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策 3-3-2 **健やかな体を育む教育の推進**



県内産の農産物や水産物を利用した給食

〈めざす10年後の姿〉

子供たちの体力向上や健康の保持増進を通して、生涯にわたって健康で安全に生活できる健やかな体が育まれている。

取組方針1 学校体育の充実

体力テストの結果を毎年記入するパワーアップチャレンジ手帳を活用するなど、児童生徒の運動習慣の定着を図ります。また、保健体育授業の指導内容の工夫や指導力向上を図るため、教員研修を充実させるほか、外部指導者を活用して運動部活動の充実を図ります。

取組方針2 健康教育の充実

健康診断及び事後措置等を適正かつ円滑に実施し、適切な保健管理に努めます。また、児童生徒の健康課題解決に向け、各学校において組織的・計画的に健康教育が実施されるよう推進します。

取組方針3 食育^{*148}の推進

学校給食を生きた教材として望ましい食行動がとれる児童生徒を育成します。また、安全性やバランスに配慮した献立内容や食事環境を整え、給食指導を推進するとともに、和歌山の豊富な食材を使った食育を進めるなど、学校給食の一層の充実を図ります。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
体力・運動能力テストの体力合計点平均 (小学5年生、中学2年生)	小学5年生 男54.38 女55.04 中学2年生 男41.69 女46.50	小学5年生 男55.10 女56.62 中学2年生 男43.51 女50.72



子供たちの体力づくり



体力づくりのための
「パワーアップチャレンジ手帳」

の各 役主 割体	市民	家庭において子供の体力づくり、健康づくり、健全な食生活の定着を図る。
	地域・NPO等	子供の健康づくりにともに取り組みコミュニティをつくる。
関係部	学校教育部 健康推進部	
関連する個別計画	和歌山市教育振興基本計画 健康わかやま21	

- 分野別目標3** 子供たちがいきいきと育つまち
- 政策 3-3** 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
- 施策 3-3-3** **人権を尊重する社会を築くための教育の推進**

〈めざす10年後の姿〉

人権・同和教育を推進し、体験活動を充実させることで、子供たちが人権を尊重する心を育てている。

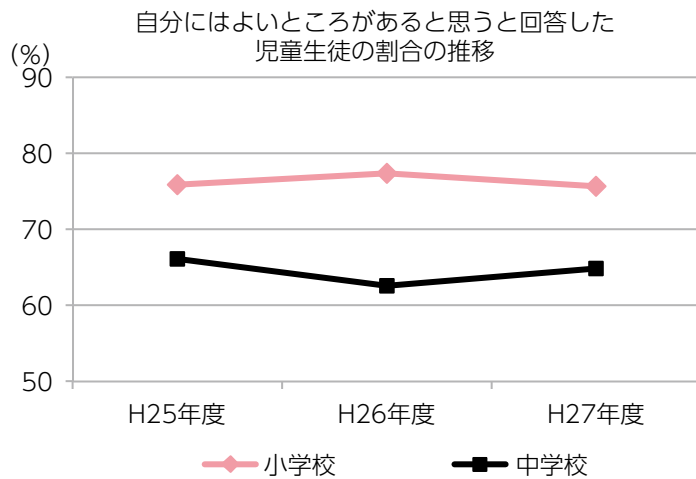


教員への人権・同和研修

取組方針1 人権・同和教育の充実

教育活動全体を通じた人権・同和教育の充実を図るため、研修機会の充実により教職員の人権感覚を磨きます。また、和歌山市ブロック人権教育研究会における講演会や研究授業、学校間での実践交流を推進して効果的な指導方法の研究を進め、児童生徒の発達段階に応じた人権・同和教育を進めます。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
自分にはよいところがあると思うと回答した児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査 (児童・生徒質問紙) より)	小学校 75.7% 中学校 64.9%	小学校 95.0% 中学校 90.0%
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査 (児童・生徒質問紙) より)	小学校 95.8% 中学校 93.3%	100%



高齢者の方々を招いての触れ合い交流

の各 役主 割体	市民	人権を尊重することの重要性を子供たちに理解させる。
	地域・NPO等	子供たちを含めた地域の人権意識を高める。

関係部	学校教育部 市民部 生涯学習部
-----	-----------------

関連する個別計画	和歌山市教育振興基本計画
----------	--------------

分野別目標3 子供たちがいきいきと育つまち

政策 3-4 安全・安心な教育環境の整備

施策 3-4-1 安全・安心な教育環境の整備



伏虎義務教育学校

〈めざす10年後の姿〉

教育や学習方法の多様性に対応した施設、設備の充実を図ることで、安心、快適な教育環境が整っている。また、登下校時・放課後に子供たちを見守る環境が整っている。

取組方針1 子供たちの安全の確保

学校のブロック塀等の耐震化など、学校施設の安全確保を図るとともに、地域、家庭、関係機関と連携し、不審者情報等を迅速かつ正確に伝達できる体制整備、非行防止や健全育成のための指導、登下校時の見守り活動など、子供たちの安全確保に向けた取組を推進します。また、少年センターによる情報モラル教室やパンフレットによる啓発など、SNS^{*19}やインターネットのトラブルから子供たちを守る取組を進めます。

取組方針2 学校教育環境の整備

学校への空調設備の設置やトイレの洋式化など、安心で快適な学習環境を確保するとともに、普通教室におけるICT^{*1}機器の活用を視野に入れたネットワーク環境を整備するなど、学校施設の充実を図ります。また、学校司書^{*29}の配置や蔵書の充実など、児童生徒の多様な読書活動を支える学校図書館の充実に取り組みます。

取組方針3 学校適正規模化の推進

各学校の児童生徒数の推移や施設の老朽化などの現状、学校を取り巻く地域環境を総合的に考慮した小・中学校の適正規模化に向けた検討を進めます。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
小・中学校の教室における空調機設置率	24.3%	100%
小・中学校におけるトイレの洋式化率	23.9%	95.0%



学校施設の耐震化



地域見守り隊との登下校指導

役各主体割の	市民	家庭において子供と安全について話し合うとともに、学校や地域が行う安全、快適な環境づくり活動に積極的に参加する。
	地域・NPO等	学校や家庭と連携して、安全、快適な環境づくりに取り組む。

関係部	教育総務部 学校教育部
-----	-------------

関連する個別計画	和歌山市教育振興基本計画 和歌山市立学校適正規模化の方針
----------	---------------------------------

- 分野別目標3** 子供たちがいきいきと育つまち
政策 3-5 家庭や地域における教育力の向上
施策 3-5-1 **家庭や地域における教育力の向上**

〈めざす10年後の姿〉

学校・家庭・地域の連携のもと、家庭での教育力や地域における社会教育の充実が図られており、子供たちが基本的な生活習慣や自立心を身に付けている。

取組方針1 家庭における教育力の充実

家庭教育を支援する人材の育成、保護者への学習機会や交流機会の提供、相談対応等の支援活動に取り組み、家庭教育の充実を図ります。また、家庭教育等に関する研修会などのPTA活動を支援します。

取組方針2 地域における教育力の充実

地域の協力を得て、学校の休業土曜日を利用した子供たちへの様々な活動や体験の場や学力向上プログラムに取り組みます。また、家庭や学校が地域社会と協働^{*49}して教育活動を支えていけるよう、地域と学校をつなぐコーディネーターの育成や世代間交流を図るなど、家庭、学校、地域が一体となって子供を育てる体制の充実に努めます。青少年の健全育成については、関係団体の活動を支援するとともに、家庭、学校、地域等の連携を強化し、青少年が健やかに育つ環境の充実を図ります。

まちづくり指標	基準値 (H27年度)	目標値 (H38年度)
家で学校の復習をしていると回答した児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査 (児童・生徒質問紙) より)	小学校 41.7% (※54.5%) 中学校 35.5% (※52.1%)	全国平均
地域共育コーディネーター ^{*186} の人数	4人	18人

※は全国平均(H27年度)



地域住民の支援による学級菜園づくり



PTA主催「親子陶芸教室」

の各 役主 割体	市民	家庭において子供たちが基本的な生活習慣や自立心を身に付けるように取り組む。
	地域・NPO等	家庭教育を支援するとともに、学校等の行う活動に協力する。
関係部	生涯学習部 こども未来部 学校教育部	
関連する個別計画	和歌山市教育振興基本計画 和歌山市子ども・子育て支援事業計画	